
	<p>全日本プロバス協議会</p> <p>ニュース (No. 6)</p> <p>2021年(令和3年)5月19日号</p>	
---	--	---



残念だった五所川原大会の開催中止

ポスト・コロナに向けて準備を始めよう！

全日本プロバス協議会

会長 古賀 靖子

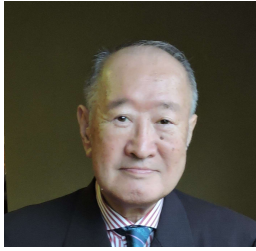
野山は新緑の美しい初夏を迎えていますが、せつかくのゴールデンウィークも新型コロナとりわけ変異株の流行で緊急事態宣言下に置かれ、何とも寂しい限りでした。私たち全日本プロバス協議会の第9回総会・五所川原大会も、「ニュース」の号外でお知らせしたように、五所川原大会が中止に追い込まれ、痛恨の極みです。

いずれにしても、2年以上にわたって開催及び歓迎の準備をされてこられたホストクラブの五所川原プロバスクラブ様には、本当に申し訳なく、これまでのご努力に心より感謝申し上げます。また、20を超える全国のプロバスクラブ様から約130名の参加申し込みがあり、本来なら地元も含めて総勢170名によるプロビアンの一大交流の場となるはずでしたが、誠に残念でなりません。コロナが収束した後、いつの日にか五所川原で“立佞武多を見る集い”でも開催されればと夢想しています。

今回、五所川原大会は中止となりましたが、第9回総会のみは文書によって開催いたします。議題は追って連絡申し上げますが、8月に文書でお手元にお届けし、採決ははがき投票によって行います。

新型コロナの流行で、全国各地のプロバスクラブの多くが活動休止に追い込まれています。でも、コロナに負けてはいけません。月報、電話、メール、LINE、手紙、何でも結構です。会員同士の連絡を密にし、結束を維持していこうではありませんか。そして、“ポスト・コロナ”での飛躍に向けて準備を始めようではありませんか。全国のプロビアンの皆様の健康をお祈りしながら、筆を置かせていただきます。

もくじ	
2 五所川原実行委員長挨拶	▽ホームページに「会員交流コー
3 事務局だより	ナー」新設
▽会則・諸内規集を発行	▽賛助会員応募状況



プロビアン皆様の善意に感謝 —五所川原大会中止に寄せて—

第9回総会・五所川原大会実行委員長
副会長 島村 吉三久

2018年11月28日開催の第8回三重大会で、東京オリンピックと同時開催と世界に有名を馳せる立佞武多を誇る第9回五所川原大会の華々しいアピールを披露。2020年1月時点の参加希望者は、194名と上々のスタートを切ったものの新型コロナウイルスの世界的大流行、その直後に日本も予期せぬ新型コロナウイルスの襲来を受けて事情は一変、20年8月8日の総会・大会は、21年の同月、同日開催に延期されました。



新作暫(しばらく)

今年3月末日時点での参加予定者は、130名ほどに達し再開催に弾みをつけたものの青森県での累計感染者が1,500人近くになっており、昨年と比べて43倍に増加。昨年とは比較にならないほどの状況悪化を露呈。全国的にも異常な増加を見るに至りました。

ワクチンも80歳以上の高齢者から開始がスタートされたものの終息までには、なお時間を要する状況下におかれております。この状況のもとで全国から130名程の参加者プラス当クラブ会員を合わせ170名ほどの参加者となるため総会並びに懇親会ではソーシャル・ディスタンスを配慮しますと会場が狭く、いかんせん三密は避けられない状況です。また全国の皆様が楽しみにしております五所川原立佞武多も開催予定で動いておりますものの、状況変化で中止も考えられ、先行きは全く不透明であります。

このような状況のもとで、皆様の健康を守るためには、中止せざるを得ないと判断して中止決定と致した次第です。

五所川原大会を決定いただいて以来、2年を経過しておりますが、最終的に中止決定を致しましたことに対しまして、心からお詫びを申し上げたいと思います。全国のプロビアンの皆様への心温まる善意に対しまして衷心より感謝申し上げますとともに皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

事務局だより

◎「会則・各種内規集」冊子の発行について

事務局では今年(2021年)3月に「会則・各種内規集」を作成、発行しました。

理由

役員交代等で新役員が全日本協議会の会則等の引き継ぎを受けていない会員クラブがあるほか、我々全日本事務局幹事をはじめ常任理事、理事、会員クラブの皆様も冊子の形で常備しておいた方が良く判断したからです。

配布方法

- ・必要に応じて臨機応変に対応いたします。
- ・メールをお持ちの役員及び会員クラブにはメールで送信、お持ちでない方やクラブには印刷して配布します。
- ・当面は事務局幹事、常任理事、理事に配布します。会員クラブには第9回総会終了後に発行する「ひろば」乃至は「ニュース」発送時に改定版を配布いたします。

冊子の更新について

- ・会則、各種内規等が改定された場合、その都度改定版を作成し、配布します。

※発行した冊子「会則・各種内規集」は、添付しました。

◎全日本のホームページに「会員クラブ交流コーナー」スタート

全日本協議会のホームページに今年1月から「会員クラブ交流コーナー」がスタートしました。掲載を希望した会員クラブは次の3クラブですが、事務局ではさらなる掲載希望を募っています。

全国のプロバスクラブがどのような活動をしているのか、ホームページを開いて情

報を収集され、貴クラブの活動に生かしていただければ幸いです。

▽1月から掲載を始めた会員クラブ名

- ・東京八王子プロバスクラブ
- ・埼玉浮き城プロバスクラブ
- ・北九州プロバスクラブ

▽運用内規(要旨)は次の通りです。

◇基本的な考え方

- ▽このコーナーを会員クラブ間の情報交換の場とする。
- ▽ホームページをもつ会員クラブとリンクするよう努める。
- ▽掲載・更新時期は毎月下旬とする。

◇掲載する定期刊行物は次の通り。

- ▽1件につき概ね10ページ以内の定期刊行物とする。
- ▽掲載希望の定期刊行物は、全日本プロバス協議会のパソコンに必ずメール送信していただく。印刷物のみの定期刊行物は掲載しない。

☆アドレスは次の通り。zeniprbu@jcom.zaq.ne.jp

◇個人情報の保護等に関して

- ▽個人情報保護に関する配慮は当該クラブで行ない、ホームページに掲載することによって生じた個人情報保護等のトラブルは掲載希望クラブが責任をもって処理する。
- ▽掲載希望クラブは全日本協議会事務局に対し、所定の用紙に必要事項を記入して提出する。提出時期は、申請当初、及び当該クラブの会長が交代した場合、また全日本協議会会長が交代した場合とする。
- ※所定の用紙は上記アドレスで注文してください。事務局からメール送信いたします。

◎今年度の賛助会員は22個人9団体 引き続き募集中

全日本プロバス協議会の運営が資金的にスムーズに行えるようにと、ご有志に1口1万円を拠出していただく賛助会員制度が2018年(平成20年)11月の第8回総会で制度化されましたが、今年度(2020年度)分の募集は昨年10月から始まりました。今年4月末までに御芳志をお寄せ頂いた賛助会員は個人

22名、団体9クラブで、協賛金は合計31万円でした。

コロナ禍で活動休止を迫られたクラブが多いなか、多くの方々、クラブからご協力をいただき、感謝申し上げます。今年度の賛助会員の募集は6月末まで受け付けておりますので、引き続きご協力をよろしく願いいたします。

今年度の賛助会員のお名前は次の通りです。(受付順、敬称略、カッコ内は所属クラブ名)

- ◇個人＝①田口隆夫(東京八王子) ②松下尚雄(横濱) ③田中信昭
④河合和郎 ⑤持田律三 ⑥杉山友一 ⑦立川富美代
⑧浅川文夫 ⑨一瀬明(以上東京八王子)
⑩川端崇且(大阪) ⑪松本忠(北九州)
⑫馬場康博(旭川) ⑬正親睦弘(鎌倉)
⑭須郷隆(埼玉浮き城) ⑮北島保和(北九州)
⑯森山功(横濱) ⑰山本英次(東京日野)
⑱島村吉三久(五所川原) ⑲宮下眞知子(徳山)
⑳住吉育代 ㉑遠藤信子(以上北九州)
㉒橋野大海(かのや東)

- ◇団体＝①東京八王子プロバスクラブ ②みやこプロバスクラブ
③壱岐プロバスクラブ ④五所川原プロバスクラブ
⑤伊勢はまゆうプロバスクラブ ⑥旭川プロバスクラブ
⑦びわ湖大津プロバスクラブ ⑧福山プロバスクラブ
⑨埼玉浮き城プロバスクラブ

◇永年賛助会員(10口以上納入)

- ①山内和夫(旭川、2018年度納入)
②古賀靖子(北九州、2018年度納入)